

# 救急、救助



毎年開催される全国消防救助技術大会に向けた訓練を行っています。これは消防の救助技術を競技形式としたもので、全国で統一した内容となっています。この大会に出場するため隊員は訓練を重ね、体力、気力、技術の向上に努めています。新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止となりましたが、消防本部内での発表会を実施しました。

救助訓練

令和2年9月

於：菰野町消防本部

## 救 急

令和2年中の救急出動件数は1,349件、搬送人員は1,311人でした。1日あたり平均3.7件の出動で、町民32人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が868件(64.3%)で最も多く、続いて一般負傷が253件(18.8%)、交通事故が122件(9%)、そのほかが106件(7.9%)となりました。

救急件数及び搬送人員が対前年比で減少した理由としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった行動変容により、救急事案の減少に繋がったことなどが考えられます。

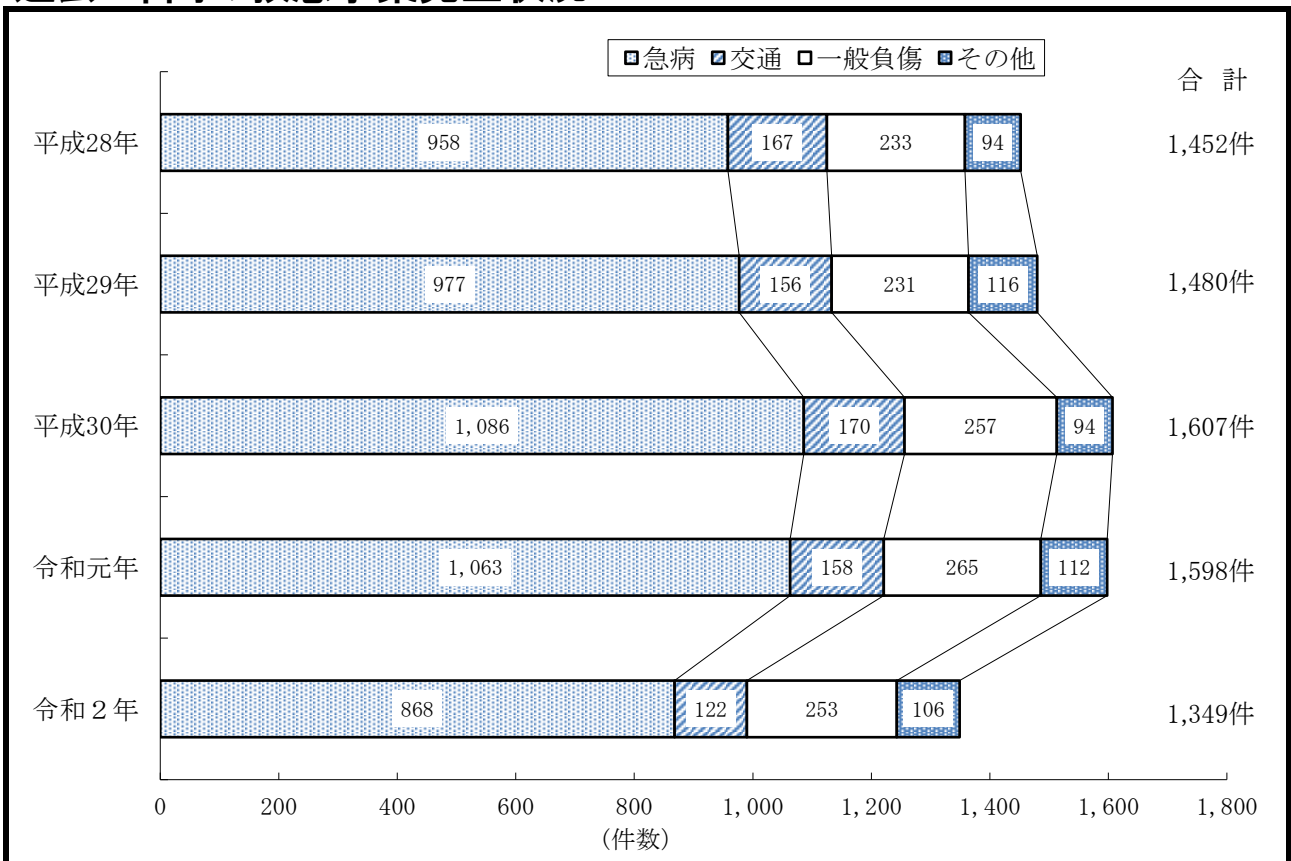
## 救急事案発生状況

区 別		年 別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	救急件数	6,209,964	6,342,147	6,605,213	6,639,767	
	発生率	489	499	520	523	
三 重 県	救急件数	91,492	94,160	100,560	98,919	
	発生率	504	519	554	545	
菰 野 町	救急件数	1,452	1,480	1,607	1,598	1,349
	発生率	348	354	384	383	324

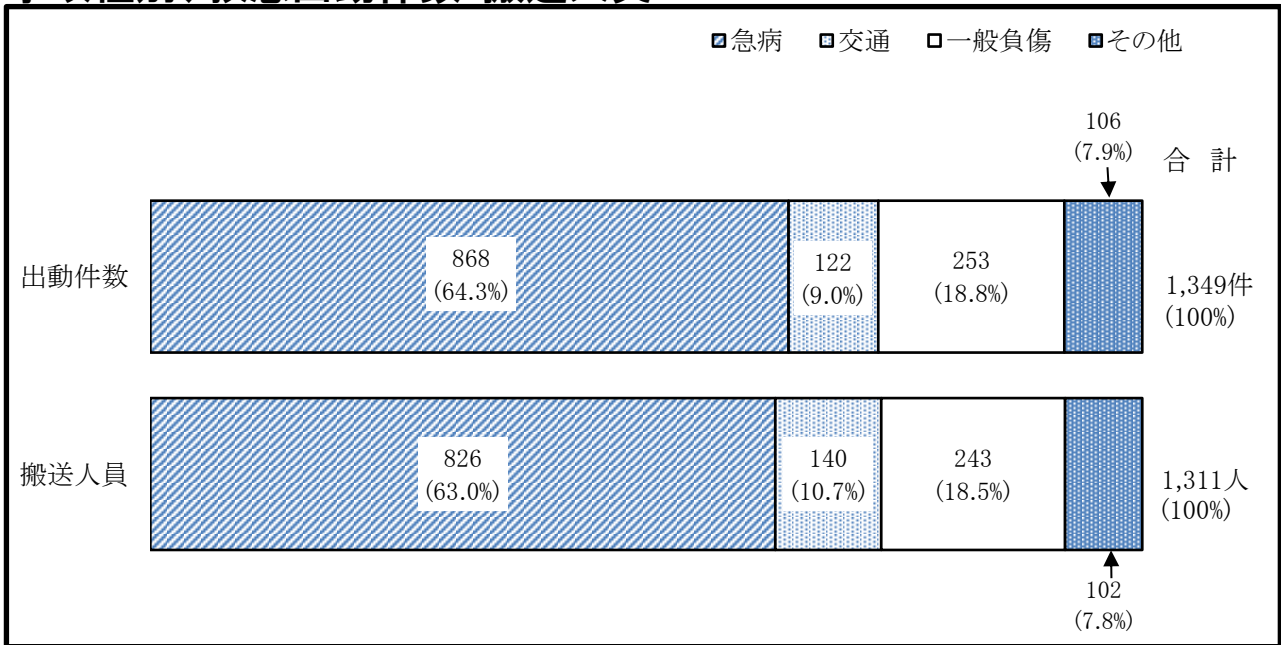
※発生率=人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,643人(令和2年12月31日現在)

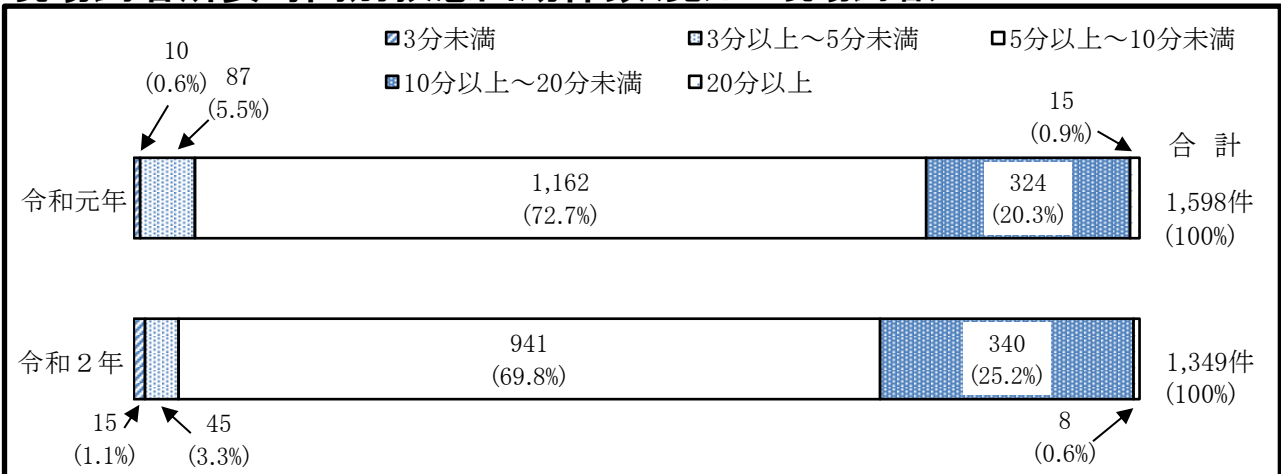
## 過去5年間の救急事案発生状況



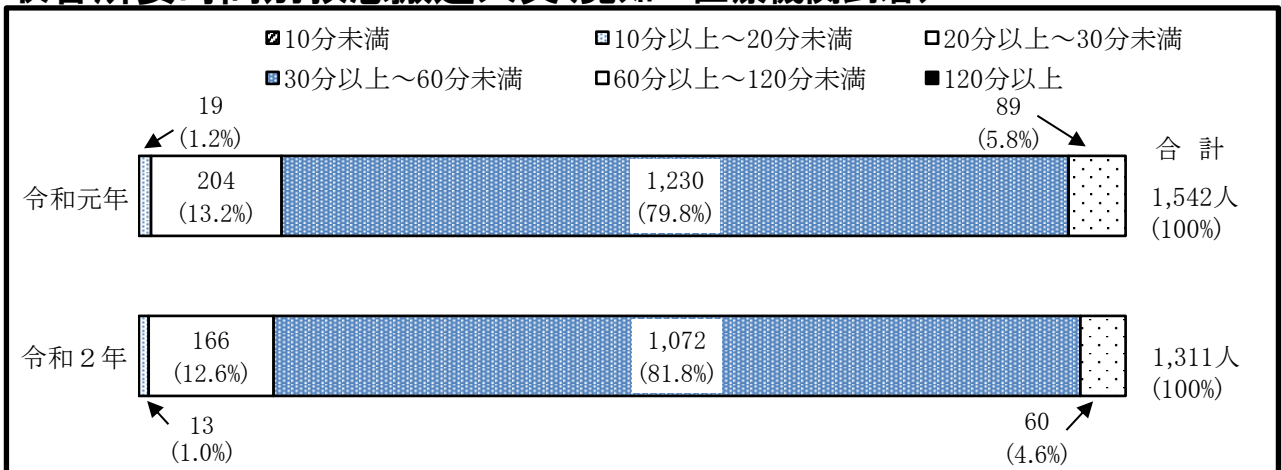
## 事故種別、救急出動件数・搬送人員



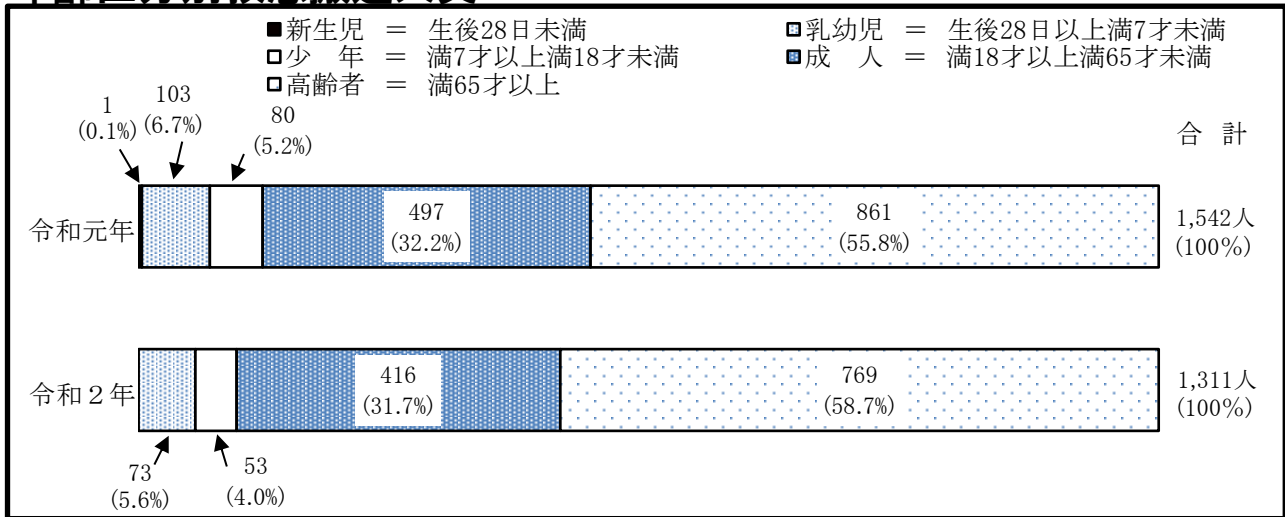
## 現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



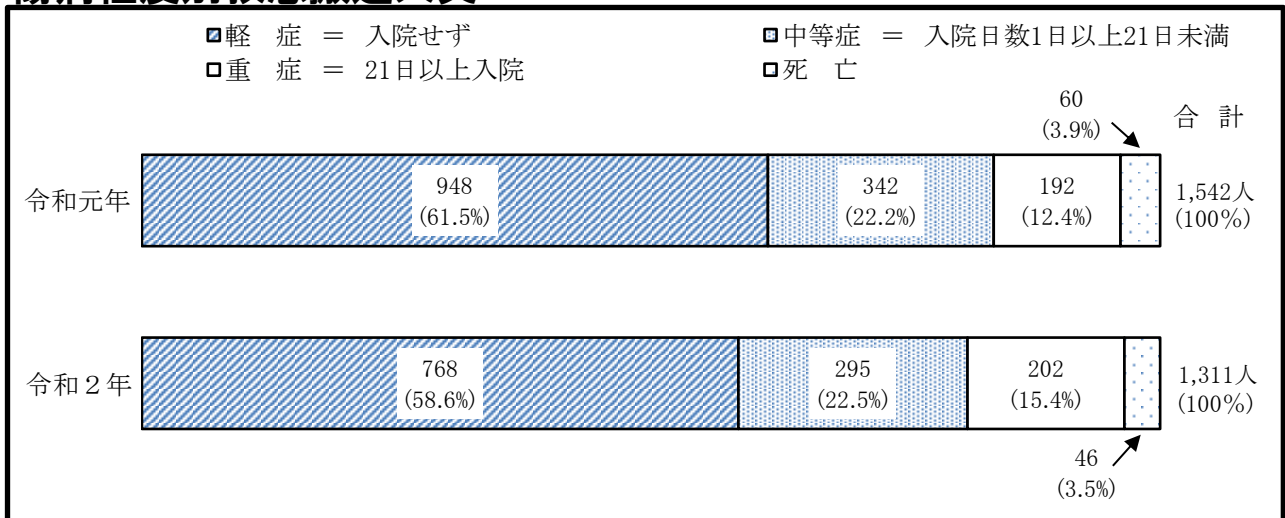
## 収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



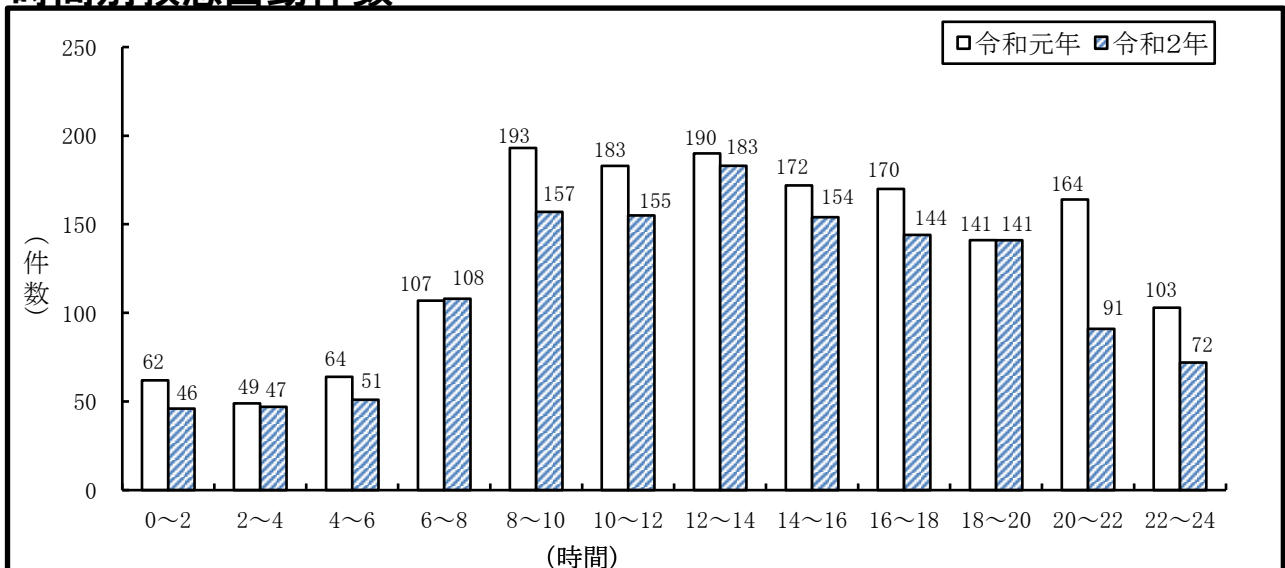
## 年齢区分別救急搬送人員



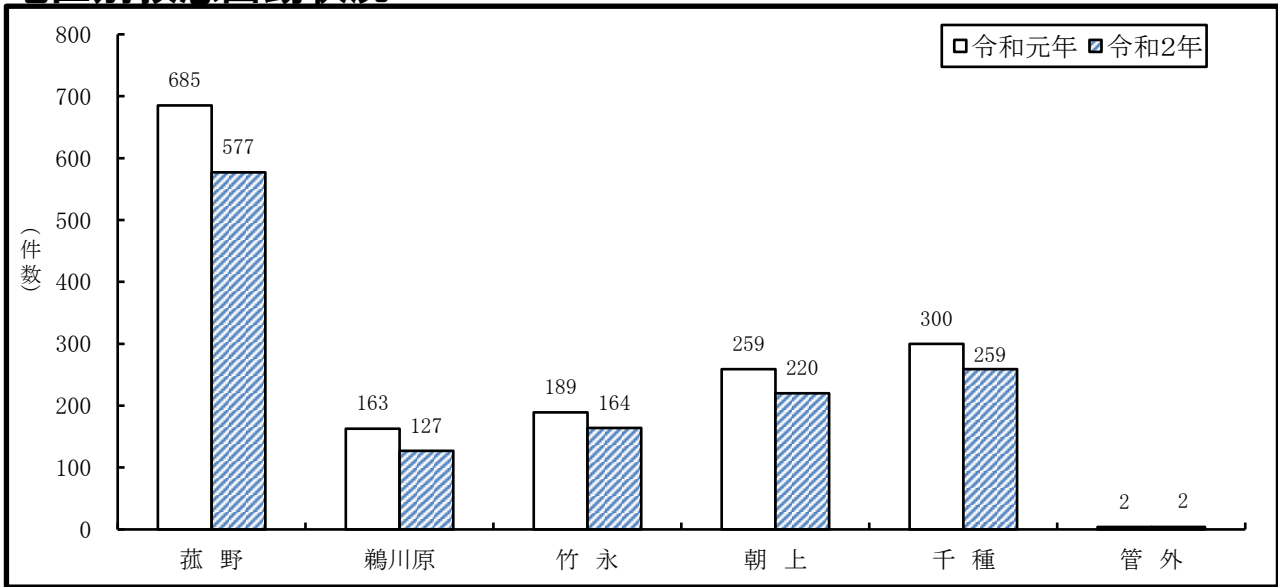
## 傷病程度別救急搬送人員



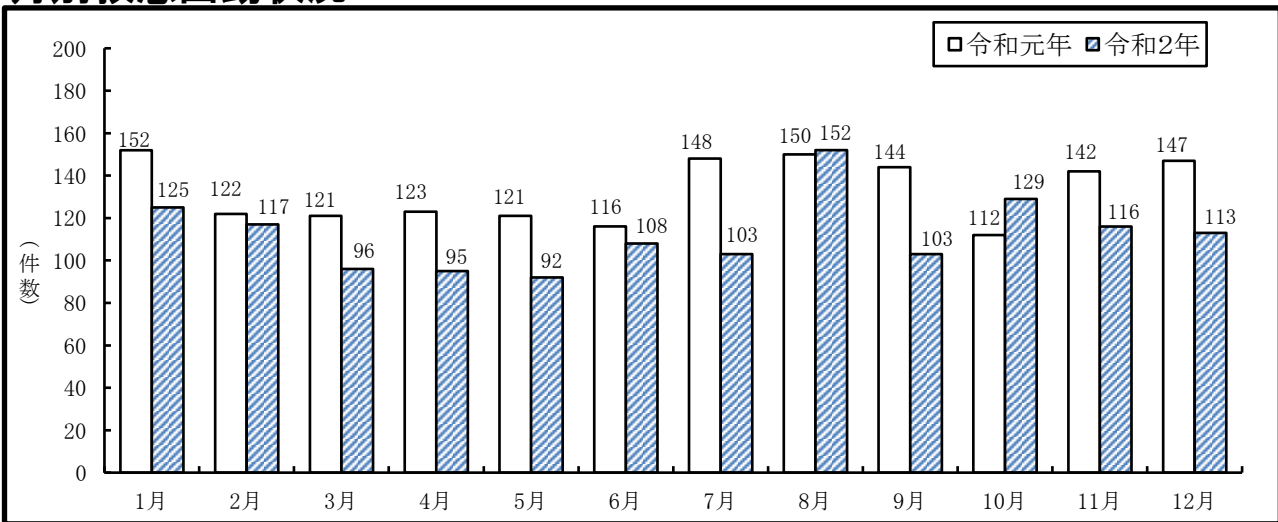
## 時間別救急出動件数



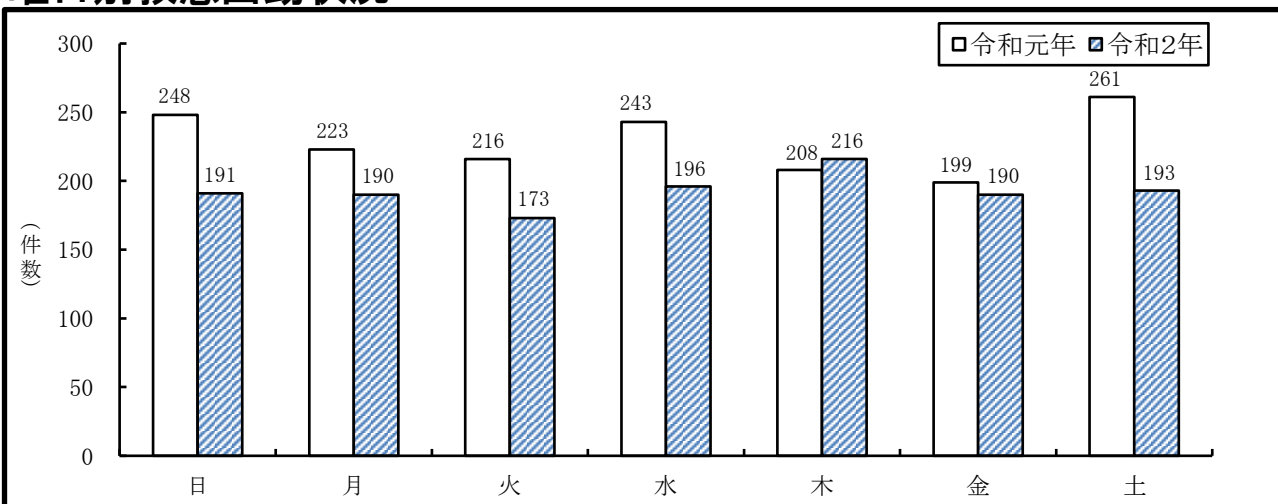
### 地区別救急出動状況



### 月別救急出動状況



### 曜日別救急出動状況



## 年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和2年 合計	令和元年 合計
死亡				7	39	46	60
重症		1	1	42	158	202	192
中等症		7	6	72	210	295	342
軽症		65	46	295	362	768	948
その他							
合計		73	53	416	769	1,311	1,542

## 事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和2年 合計	令和元年 合計
新生児													1
乳幼児				6			27			40		73	103
少年				19		7	8			17	2	53	80
成人				81	21	2	52		7	242	11	416	497
高齢者				34	1		156		5	527	46	769	861
合計				140	22	9	243		12	826	59	1,311	1,542

## 事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和2年 合計	令和元年 合計
死亡				1					2	43		46	60
重症				12	5		47		2	116	20	202	192
中等症				18	3	1	41		3	196	33	295	342
軽症				109	14	8	155		5	471	6	768	948
その他													
合計				140	22	9	243		12	826	59	1,311	1,542

## 事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和2年合計	令和元年合計
休日					25	1	5	46		4	158	2	241	332
休日以外の日					97	21	4	207	1	11	710	57	1,108	1,266
時間内	0～2				4			3		1	38		46	62
	2～4				3	1		9			34		47	49
	4～6				1			12			38		51	64
	6～8				14			21		1	72		108	107
	8～10				10	3		33		2	105	4	157	193
	10～12				19	5	1	35		4	80	11	155	183
	12～14				18	5	3	27		1	113	16	183	190
	14～16				15	4	2	31	1	1	88	12	154	172
	16～18				16	3		28		4	82	11	144	170
	18～20				15	1		25			97	3	141	141
	20～22				5		3	17		1	64	1	91	164
	22～24				2			12			57	1	72	103
令和2年計				122	22	9	253	1	15	868	59	1,349		
令和元年計			3	158	20	11	265	4	15	1,063	59		1,598	

## 事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	13	15	59	7	94
固定	11	106	84	20	221
人工呼吸	1	1	1		3
心肺蘇生	38	1		2	41
酸素吸入	193	14	4	25	236
気道確保	43	2	2	2	49
気道確保（特定行為）	9			1	10
保温	315	46	75	38	474
被覆	7	22	73	9	111
除細動	2				2
静脈路確保	32		1	1	34
薬剤投与	21			1	22
ブドウ糖投与	4				4
その他	2,798	429	650	293	4,170
合計	3,487	636	949	399	5,471

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

## 事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和2年合計		令和元年合計		
	開設別		うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外		
救急告示医療機関	国立		1	1							1	1	2	2	
	公立		519	519	81	81	133	133	70	70	803	803	952	952	
	公的		261	79	52	21	102	41	25	10	440	151	489	138	
	私的	病院		38	38	7	7	8	8	7	7	60	60	85	85
		診療所													
計		819	637	140	109	243	182	102	87	1,304	1,015	1,528	1,177		
その他の医療機関	国立		1	1							1	1			
	公立														
	公的												1	1	
	私的	病院		3	3							3	3	9	9
		診療所		3	3							3	3	4	3
計		7	7							7	7	14	13		
計	国立		2	2							2	2	2	2	
	公立		519	519	81	81	133	133	70	70	803	803	952	952	
	公的		261	79	52	21	102	41	25	10	440	151	480	139	
	私的	病院		41	41	7	7	8	8	7	7	63	63	94	94
		診療所		3	3							3	3	4	3
計		826	644	140	109	243	182	102	87	1,311	1,022	1,542	1,190		
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
令和2年計			826	644	140	109	243	182	102	87	1,311	1,022			
令和元年計			1,015	777	168	129	255	194	104	90			1,542	1,190	



## 救 助

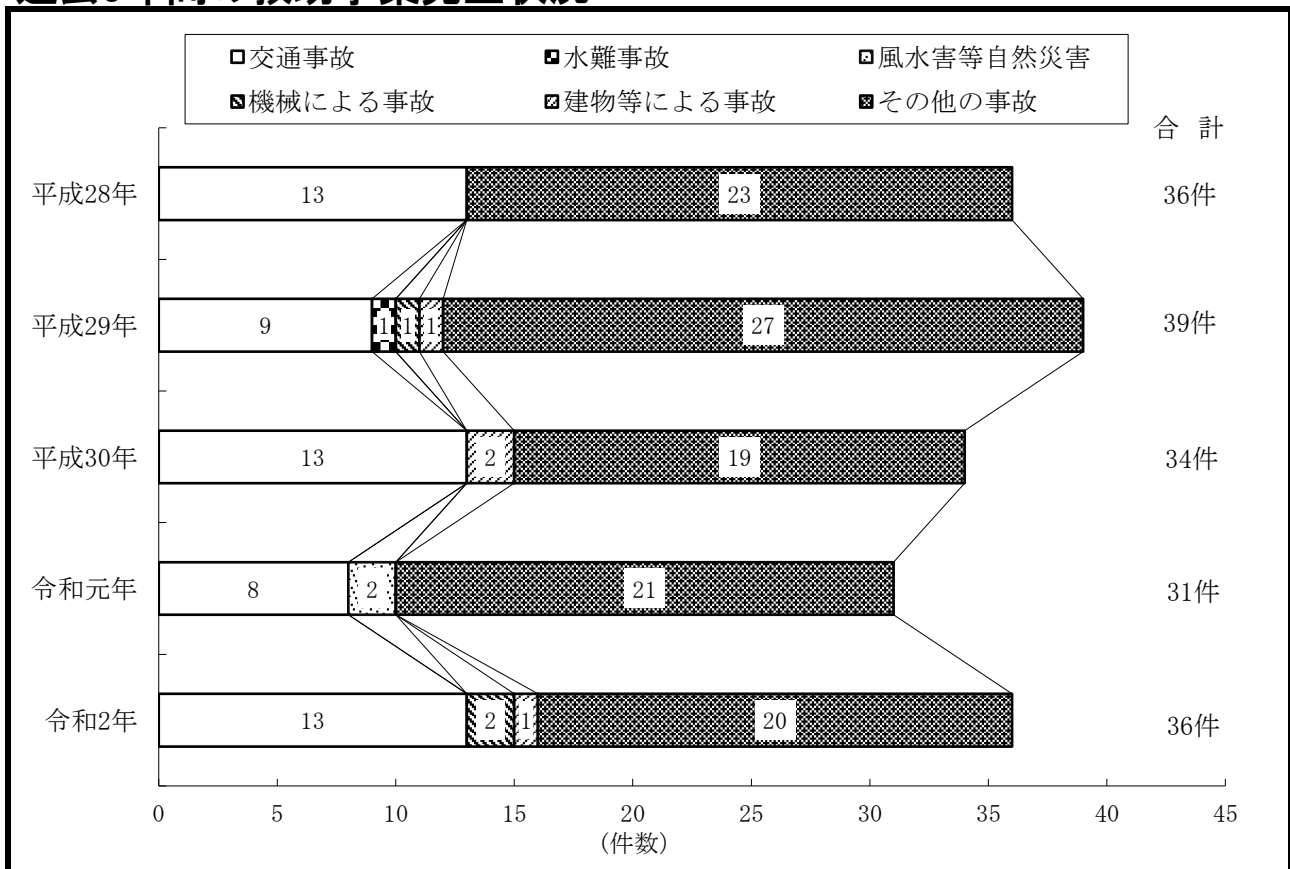
令和2年中の救助出動件数は36件、救助人員は26人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故20件(うち山岳救助16件)が最も多く、交通事故が13件、機械による事故が2件、建物等による事故が1件となりました。

## 救助事案発生状況

年 別		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
区 別						
全 国	救助出動件数	90,080	92,336	97,429	96,424	
	救助活動件数	57,148	56,315	61,507	61,340	
	救助人員	57,955	57,664	63,836	63,670	
三 重 県	救助出動件数	903	902	876	924	
	救助活動件数	552	560	582	606	
	救助人員	605	664	620	725	
菰 野 町	救助出動件数	36	39	34	31	36
	救助活動件数	25	23	25	22	25
	救助人員	30	24	31	24	26

## 過去5年間の救助事案発生状況



## 事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 2 合	和 年 計	令 元 合	和 年 計
	建 物	他												
出 動 件 数			13			2	1			20		36		31
救 助 人 員			8			3	1			14		26		24

※管轄外の出動件数含む

## 事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 2 合	和 年 計	令 元 合	和 年 計
	建 物	他												
救 助 隊 員			48			8	4			91		151		128
消 防 隊 員			18									18		15
救 急 隊 員			51			6	3			27		87		69
合 計			117			14	7			118		256		212

## 事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 2 合	和 年 計	令 元 合	和 年 計
	建 物	他												
救 助 工 作 車			13			2	1			4		20		16
タ ン ク 車														
ポ ン プ 車			6									6		5
救 急 車			17			2	1			9		29		23
指 揮 車														
広 報 車										16		16		15
資 機 材 搬 送 車										1		1		1
そ の 他 の 車 両										2		2		
合 計			36			4	2			32		74		60

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	そ の 他 ( 山 岳 )	1 月 11 日 ( 土 ) 14 時 08 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
2	交 通	2 月 9 日 ( 日 ) 21 時 34 分	朝 上 (田光)	報 知 電 話	
3	そ の 他	2 月 13 日 ( 木 ) 11 時 25 分	千 種 ( 岡 )	報 知 電 話	
4	そ の 他 ( 山 岳 )	3 月 29 日 ( 日 ) 16 時 05 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
5	交 通	4 月 11 日 ( 土 ) 9 時 25 分	竹 永 (竹成)	報 知 電 話	
6	そ の 他 ( 山 岳 )	5 月 1 日 ( 金 ) 14 時 18 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
7	交 通	5 月 12 日 ( 火 ) 12 時 45 分	菰 野 (菰野第三区)	報 知 電 話	
8	そ の 他 ( 山 岳 )	5 月 17 日 ( 日 ) 12 時 43 分	朝 上 (田光)	加 入 電 話	
9	そ の 他	5 月 26 日 ( 火 ) 10 時 23 分	竹 永 (永井)	報 知 電 話	
10	交 通	6 月 6 日 ( 土 ) 11 時 49 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	
11	交 通	6 月 18 日 ( 木 ) 15 時 49 分	千 種 (奥郷)	報 知 電 話	
12	建 物 等	7 月 21 日 ( 火 ) 12 時 19 分	菰 野 (大羽根園)	報 知 電 話	
13	交 通	8 月 7 日 ( 金 ) 10 時 46 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で滑落し、左足を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	軽四自動車の単独事故により車両が横転し、車内に閉じ込められている。	自力により車外へ出ていたため、救出活動は行わず、安全管理及び車両固定を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	川で人が倒れている。	担架を使用し、徒手搬送で川から道路へ引き上げ救出した。
	広報車 積載車 救急1号車	4 3 3	新着滝橋の山中で約5m滑落し、左足を負傷した。	担架とロープを使用し、徒手搬送で道路まで引き上げ救出した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	4tトラックと軽四自動車の衝突事故により、軽四自動車が横転し、車内に閉じ込められている。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行い担架にて搬送した。
	広報車 救急2号車	4 3	御在所岳中道登山道を下山中に転倒し、右足を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	10tトラックと軽四自動車の衝突事故により、軽四自動車内に閉じ込められている。	挟まれ等は無く、車両固定後、救急隊と協力し担架にて車外へ救出した。
	広報車	4	八風峠登山中に意識を無くして倒れた。	ヘリコプターによるピックアップ後、奈良県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	住人が体調不良により体を動かすことができず、施錠されたドアを開けられない。	はしごにてベランダから進入し、玄関を開錠後、担架にて救出した。
	救助工作車 救急2号車 救急3号車	2 3 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、田んぼに転落。1台が横転し車内に閉じ込められている。	車両固定後、横転車両の上側になっているドアを人力にて開放し、介添えにて車外へ救出した。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、1台が転覆し2名が車内に閉じ込められている。	車両の前部ドアを人力で開放し1名を救出、もう1名を担架を使用し後部窓から車外へ救出した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	トイレのドアノブが破損し、ドアが開かず、外に出られない。	ドアの隙間から工具を使用し、ドアの開放を行い救出した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	トラックと普通乗用車の衝突事故により、トラックが田圃に転落し、車内に閉じ込められている。	転落したトラックを固定し、損傷の無いドアを開放し、誘導にて車外へ救出した。

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	そ の 他	8 月 18 日 ( 火 ) 12 時 33 分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話	
15	そ の 他	8 月 23 日 ( 日 ) 11 時 21 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
16	交 通	8 月 26 日 ( 水 ) 17 時 41 分	鶯川原 (吉沢)	報 知 電 話	
17	交 通	8 月 28 日 ( 金 ) 7 時 14 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
18	そ の 他 ( 山 岳 )	9 月 5 日 ( 土 ) 15 時 38 分	千 種 (千草)	加 入 電 話	
19	交 通	9 月 8 日 ( 火 ) 14 時 56 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	
20	そ の 他 ( 山 岳 )	9 月 19 日 ( 土 ) 11 時 58 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
21	そ の 他 ( 山 岳 )	10 月 6 日 ( 火 ) 11 時 12 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
22	交 通	10 月 22 日 ( 木 ) 11 時 00 分	鶯川原 (大強原)	報 知 電 話	
23	機 械	10 月 23 日 ( 金 ) 16 時 37 分	千 種 (岡)	報 知 電 話	
24	交 通	10 月 24 日 ( 土 ) 10 時 45 分	鶯川原 (大強原)	報 知 電 話	
25	そ の 他 ( 山 岳 )	10 月 25 日 ( 日 ) 11 時 39 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
26	そ の 他 ( 山 岳 )	10 月 30 日 ( 金 ) 12 時 22 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	4 3	地上10mの遊具の上で気分不良になり、動けなくなった。	施設関係者により救出済みであったため、救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で行進中に転倒し、右足が側溝のブロックの隙間に挟まって動けなくなった。	救急隊により救出済みであったため、安全管理及び車両誘導を行った。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	軽四自動車による単独自損事故により車両が横転し、車内に閉じ込められている。	すでに車外へ出ており、救出活動は行わず、漏油確認、情報収集及び救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	4tトラックが横転し、車内に閉じ込められている。	ガラスカッターと油圧資器材を使用して、スペースを作り車外へ救出した。
	広報車 救急1号車	4 3	中峠下山中に虫に刺され動けなくなった。	自力歩行可能であり、介添え搬送にて登山口まで搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	軽四自動車同士の衝突事故により両車両が横転し、1台の車内に閉じ込められている。	車両フロントガラスを切断資器材を使用し開放後、誘導し車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中、橋から転落し頭部を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な場所まで搬送後、滋賀県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳前尾根にてロッククライミング中に1名が滑落し、2名が負傷した。	2名とも三重県防災航空隊がヘリコプターによるピックアップ後、医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急3号車	3 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、軽四自動車が横転し、車内に閉じ込められている。	すでに車外に救出されていたため、車両の固定、火災警戒対応を実施し、救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 救急2号車	4 3	カーキャリアの後部あたりと、積まれていたトラクターの間に挟まれた。	可搬式ウインチを使用し、トラクターを引き揚げた後、カーキャリア後部あたり部を倒し救出した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、車内で挟まれ閉じ込められている。	挟まれておらず、救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行った。
	広報車	4	御在所岳中道登山にて小児の行方がわからないとのことで、事故の可能性を考慮。	協力者と共に下山完了しており、救助の必要はなかったため、情報収集後、警察に引き継いだ。
	広報車 防災広報車 救急2号車	4 4 3	御在所岳前尾根にてロッククライミング中に約3m落下し右足を負傷した。	背負い資器材にて小屋まで搬送し、救出した。

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
27	その他 (山岳)	10月31日(土)16時00分	菰野 (湯の山)	報知電話	
28	その他 (山岳)	11月1日(日)13時31分	菰野 (湯の山)	報知電話	
29	交通	11月3日(火)10時43分	菰野 (神森)	報知電話	
30	その他 (山岳)	11月15日(日)10時35分	菰野 (湯の山)	報知電話	
31	その他 (山岳)	11月17日(火)17時34分	朝上 (田光)	報知電話	
32	機 械	11月21日(土)8時57分	千種 (江野)	報知電話	
33	その他 (山岳)	11月29日(日)12時25分	菰野 (湯の山)	報知電話	
34	その他 (山岳)	12月5日(土)10時57分	菰野 (湯の山)	報知電話	
35	その他 (山岳)	12月19日(土)16時44分	菰野 (湯の山)	報知電話	
36	交通	12月20日(日)11時39分	千種 (潤田)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)  
 加入電話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で道迷い者を発見したが、体力を消耗し動けない。	三重県防災航空隊の活動補助及び周囲の安全管理を実施し、ヘリコプターによるピックアップ後、伊勢湾ヘリポートへ搬送した。
	広報車	4	御在所岳一ノ谷新道を下山中に足を滑らせ、高さ約5m滑落し、前額部及び腹部を負傷した。	三重県防災航空隊の活動補助及び周囲の安全管理を実施し、ヘリコプターによるピックアップ後、医療機関へ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急2号車 救急3号車	4 2 3 3	ワンボックス車と普通乗用車の衝突事故により、ワンボックス車の運転手の足が挟まれ車外にでられない。	車両固定後、油圧資器材によりドアの開放及び挟まれ部分の開放を行い、車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳中道登山中、体調が悪くなり一時的に意識を失った。	介添え搬送にて登山口まで搬送した。
	広報車 防災広報車 救急2号車	4 4 3	三池岳下山中に約20m滑落した。	担架を使用し、登山口まで搬送し、救出した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	強風によりゴンドラが停止。2名が閉じ込められた。	ゴンドラの手動装置を使用し、上側へ引揚げ、救出した。
	広報車	4	御在所岳中道登山中に懸垂降下した際、アンカーが崩れ、約10m落下し、左足及び腰部を痛めた。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳中尾根にてロッククライミング中に足を踏み外し、2m滑落し、後頭部を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中、小児が衰弱して動けなくなった。	介添え搬送にて山頂まで搬送し、その後、ロープウェイにて下山した。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	3 3 3	軽四自動車同士の衝突事故。1台が横転、もう1台がガードレールに衝突している。	すでに車外へ出ており、救助の必要はなかったため、漏油確認、安全管理及び救急隊の活動支援を行った。

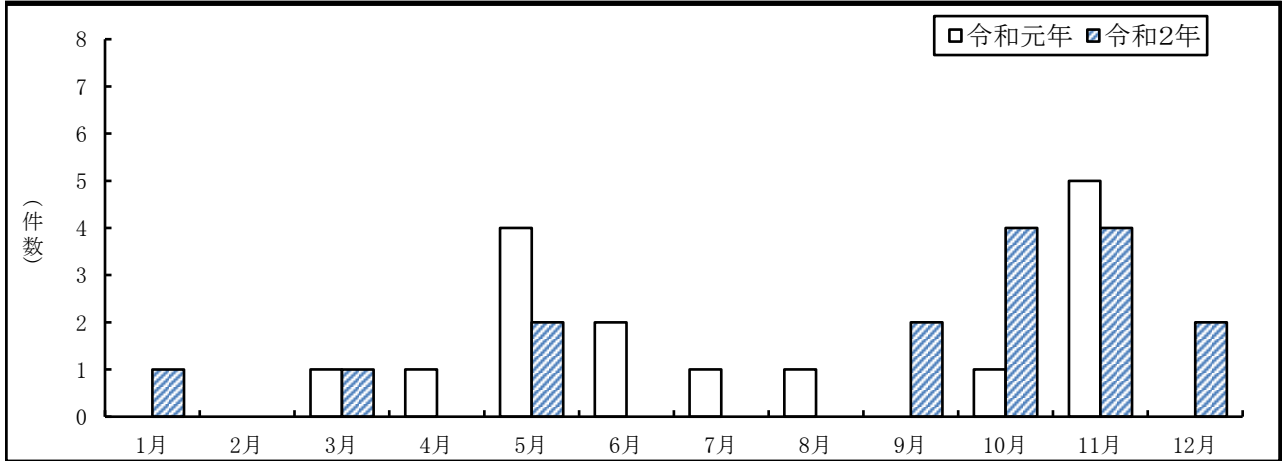


## 山岳救助

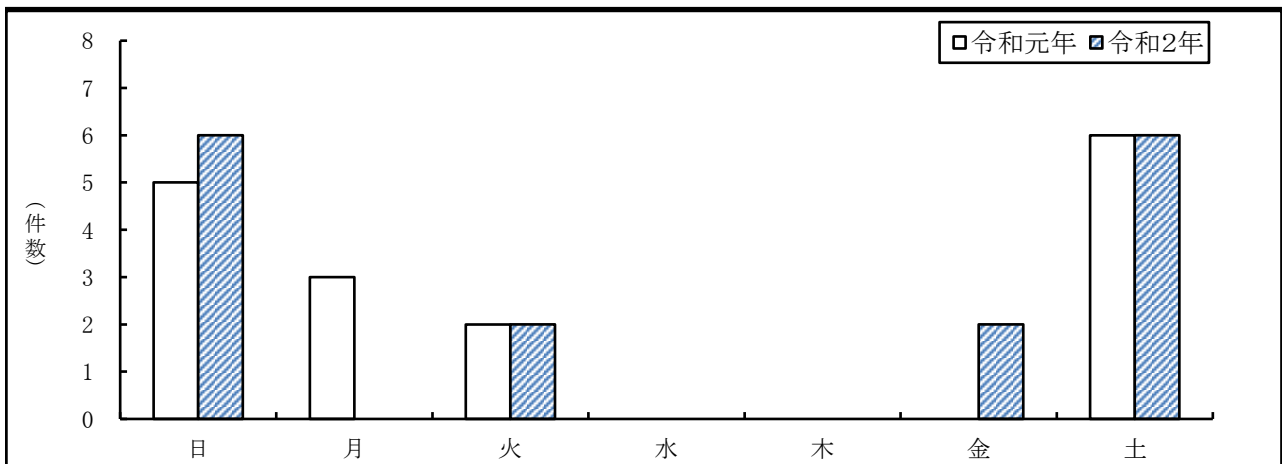
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しています。

山岳救助事案の半数が三重県防災航空隊の防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は2時間12分であり、最長活動時間は4時間50分を要しました。

### 月別山岳救助出動状況



### 曜日別山岳救助出動状況



### 時間別山岳救助出動状況

